

# えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

## 「チームえりも」で 「いじめはいけない」

小・中・高生全員で標語作成

～当町では生徒指導連絡協議会が、いじめ撲滅  
の取組を一丸となって展開しています～

(キーワード 徳育)

「平成 25 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の北海道の状況において、いじめの認知件数は平成 19 年度以降、減少傾向にあります。また、25 年度の認知件数は、小学校 1, 121 件、中学校 1, 733 件、高等学校 782 件、特別支援学校 33 件の合計 3, 669 件で、前年度が 4, 383 件であったことに比べ減少しました。

えりも町においては、25 年度は 6 名いじめと認知されましたが、その後、学校のきめ細かな対応の結果、解消されております。

このような状況を受け、町内の先生方で組織する「えりも町生徒指導連絡協議会」では、「いじめ撲滅」の標語募集の活動を 24 年度から実施し本年度で 4 回目となります。

本年度は、児童生徒に「いじめ撲滅、ネットトラブル根絶」を呼びかけて、町内の小学生 281 名、中学生 137 名、高校生 109 名の 527 名が標語に参加しました。

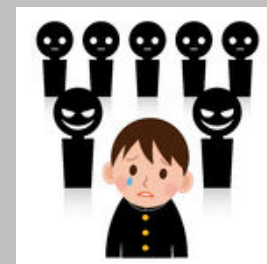
今後いじめをなくすため、一層、児童生徒への指導の徹底と心の教育の充実を図ります。

### ○小学生の部 《最優秀賞》(3～6年)

- 3年 大場百莉(えりも小) その言葉 友だちなくす やめようよ
- 4年 村田 光(えりも岬小) だいじょうぶ 一人じゃないよ ぼくがいる
- 5年 能登駿介(笛舞小) もうやめろ やさしい心に スイッチオン
- 6年 富沢柚香(えりも小) 一言で 救われる気持ち 失う気持ち

#### 《優秀賞》

- 3年 山本依幸(えりも小) やさしさは 声をかけて あげること
- 藤田 萌(えりも岬小) あいさつは みんなのきずな むずぶもの
- 4年 古海宏樹(えりも小) いじめたら 会話と友だち 消えていく
- 齊藤日奈多(笛舞小) 「やめようよ」 いじめをとめる だい一歩
- 5年 大平真緒(えりも小) いじめはね 友達なくす 一歩だよ
- 中野蒼彩(東洋小) 伝えよう わたしの気持ち はっきりと
- 6年 柳 颯汰(えりも小) おそくない いまからちゃんと あやまろう
- 工藤春乃(笛舞小) 見つけたら 助けてあげよう 今すぐに



### ○中学生の部 《最優秀賞》

- 1年 能登晴子 考えな 自分がされた ときのこと
- 2年 北村奏美 たち向かえ まわりの人も いじめから
- 3年 笠嶋未夢 いじめはね ひとの笑顔を なくすもの

#### 《優秀賞》

- 1年 芳賀裕之 いじめっ子 もちろん覚悟は あるんだね?
- 大場結菜 かわいそう そう思うなら 止めようよ
- 2年 窪田里奈 第一歩 止める言葉と その勇氣
- 久保田彩月 考えて 言った言葉は 戻らない
- 3年 中野まりあ 自分から やめさせなくちゃ 終わらない
- 中村真佐人 その言葉 言い出す前に 考えて



### ○高校生の部 《最優秀賞》

- 1年 池田榛花 消えぬ傷 相手の心は 枯れたまま
- 2年 中野有紗 文字だけじゃ 本当の気持ち 伝わらない
- 3年 四十榮 満 どうしたの? その一言が 変える未来

#### 《優秀賞》

- 1年 佐々木はずき 画面より 目を見て話す 大切さ
- 吉沢峻佑 イジメたら 自分に迫る 黒い影
- 2年 山岸陽奈 画面から 人の心は 読みとれない
- 洪田瑞希 ラインより 顔みて話そう 友達と
- 3年 川上優菜 考えよう 人にぶつける 言葉の重み
- 北村拓磨 あいさつは みんなをつなぐ 合言葉



## フッ化物洗口の取組

えりも町においては、過去に「えりもむし歯」と名付けられるほど、子供のむし歯が多い状況でありました。

そのため、各学校においては、これまでも食後の歯磨きや家庭での歯磨きの励行などに取り組んできています。

しかし、むし歯保有率は減少傾向にあるとはいえ課題となっております。

そこで当町においては、平成24年度の「町政執行方針」で町長が『フッ化物洗口』の実施に向けて、関係者との合意形成に努めてまいりたい」という考えを示しました。

えりも町教育委員会では、歯磨き励行に加え、むし歯への予防効果が高い「フッ化物洗口」を、平成25年4月から町内全小学校で実施することとしました。



しっかりぶくぶく岬の子

その後、各学校や保護者の理解を図りながら、段階的に実施してきております。

特に、実施に当たっては、家庭で個人的に行うことも可能ですが、継続することが困難であるという実情もあり、学校で集団的に実施することとしました。

現在は、幼少時の歯垢染色液を用いた歯磨き指導、保育所におけるフッ化物洗口も実施され、むし歯予防の効果を高める取組が町内上げて行われています。

各学校では、時間や洗口方法を工夫し写真のように行われています。



学年ごとに取り組む庶野の子

各学校では、毎月3～5回を洗口の日に決めて行っています。

特に、むし歯予防の効果を高めるためには、家庭においても歯磨きを行うなど、学校と絆を深める取組をお願いいたします。



時間を計って行う東洋の子